



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL <https://www.taiheiyo.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,940	△25.8	151	△48.9	59	△69.5	170	26.0
2020年3月期第2四半期	16,098	2.0	296	△31.4	195	△43.3	135	△41.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 85百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 △105百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.95	—
2020年3月期第2四半期	17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	44,895	14,706	31.7	1,828.18
2020年3月期	43,691	14,932	33.1	1,857.85

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,221百万円 2020年3月期 14,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△7.6	750	8.7	440	△10.8	350	△24.6	44.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,783,448株	2020年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,146株	2020年3月期	4,109株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,779,327株	2020年3月期2Q	7,779,339株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症と共存する社会状況が続くなかで、緊急事態宣言解除後は、深く落ち込んだ経済活動において一部持ち直しの動きが見られるものの、回復速度は緩やかであり景気の先行きは依然として厳しく、不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、商事セグメントの輸入炭の販売数量が減少したこと等により、売上高は119億40百万円（前年同期比25.8%減）、営業利益は1億51百万円（同48.9%減）、経常利益は59百万円（同69.5%減）となりましたが、投資有価証券を一部売却した利益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億70百万円（同26.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①不動産セグメント

管理マンションの大規模修繕工事の受注が減少したこと等により、売上高は14億30百万円（前年同期比0.3%減）となったものの、修繕費コスト等の減少により、営業利益は3億94百万円（同2.3%増）となりました。

②商事セグメント

主力事業である輸入炭の販売数量が減少したこと等により、売上高は45億18百万円（同43.4%減）となり、営業損失は1億57百万円（前年同期は23百万円の営業損失）となりました。

③サービスセグメント

給食事業及び旅客運送業（タクシー業）等の売上減少により、売上高は25億50百万円（前年同期比8.6%減）となり、営業利益は1億26百万円（同50.0%減）となりました。

④建設工事セグメント

建設工事の受注が減少したことにより、売上高は22億33百万円（同17.4%減）となったものの、利益率の増加等により、営業利益は1億1百万円（同14.1%増）となりました。

⑤肥料セグメント

農業用肥料の販売数量が増加したことにより、売上高は12億6百万円（同1.1%増）となり、営業利益は98百万円（同220.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は448億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億3百万円増加となりました。この主な要因は、輸入炭の在庫の増加により商品及び製品が13億16百万円増加したこと等によるものであります。

負債は301億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億29百万円増加となりました。この主な要因は短期借入金が26億46百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は147億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億26百万円減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が1億40百万円減少したこと及び投資有価証券の一部売却によりその他有価証券評価差額金が92百万円減少したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は31.7%（前連結会計年度は33.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、58億37百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて1億41百万円減少となりました。また、前連結会計年度末に比べて3億46百万円減少となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は14億35百万円（前年同期は17億72百万円の支出）となりました。これは、主に事業活動に伴う商品及び製品の輸入炭等の購入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億54百万円（前年同期は10億96百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は21億40百万円（前年同期は29億26百万円の収入）となりました。これは、主に借入金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、現時点で2020年5月13日に公表した計画から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,559	6,184
受取手形及び売掛金	3,267	3,008
販売用不動産	—	14
未成工事支出金	1,049	337
商品及び製品	5,878	7,194
原材料及び貯蔵品	109	128
その他	1,139	1,244
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	17,993	18,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,703	8,971
土地	12,439	12,701
その他(純額)	578	1,291
有形固定資産合計	21,721	22,964
無形固定資産		
その他	87	95
無形固定資産合計	87	95
投資その他の資産		
投資有価証券	877	644
長期貸付金	10	11
差入保証金	2,058	2,060
その他	952	1,020
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,889	3,727
固定資産合計	25,698	26,787
資産合計	43,691	44,895

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,406	2,197
短期借入金	7,915	10,561
賞与引当金	244	237
その他	3,697	3,534
流動負債合計	14,263	16,531
固定負債		
社債	2,121	1,872
長期借入金	4,865	4,507
受入保証金	3,952	3,668
債務保証損失引当金	1,408	1,408
退職給付に係る負債	702	678
資産除去債務	122	121
その他	1,323	1,401
固定負債合計	14,495	13,657
負債合計	28,759	30,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,347	3,347
利益剰余金	5,744	5,603
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,331	13,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294	201
土地再評価差額金	833	833
退職給付に係る調整累計額	△7	△4
その他の包括利益累計額合計	1,120	1,030
非支配株主持分	479	484
純資産合計	14,932	14,706
負債純資産合計	43,691	44,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,098	11,940
売上原価	14,129	10,295
売上総利益	1,969	1,644
販売費及び一般管理費	1,672	1,492
営業利益	296	151
営業外収益		
受取配当金	34	26
保険解約返戻金	22	0
その他	46	55
営業外収益合計	104	83
営業外費用		
支払利息	135	119
その他	69	55
営業外費用合計	205	174
経常利益	195	59
特別利益		
固定資産売却益	23	6
投資有価証券売却益	—	228
特別利益合計	23	235
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	1
投資有価証券売却損	—	0
その他	—	0
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	213	292
法人税等	76	115
四半期純利益	136	177
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	135	170

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	136	177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△244	△93
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△242	△91
四半期包括利益	△105	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104	80
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213	292
減価償却費	313	358
固定資産売却損益 (△は益)	△21	△6
固定資産除却損	4	1
受取配当金	△34	△26
受取利息	△0	△0
支払利息	135	119
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△227
売上債権の増減額 (△は増加)	1,531	258
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,023	△638
仕入債務の増減額 (△は減少)	△541	△209
前受金の増減額 (△は減少)	87	△517
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	98	△284
その他	△303	△234
小計	△1,540	△1,114
利息及び配当金の受取額	35	26
利息の支払額	△158	△118
法人税等の支払額	△116	△230
法人税等の還付額	7	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,772	△1,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,136	△1,385
固定資産の売却による収入	92	7
資産除去債務の履行による支出	△17	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
長期貸付金の回収による収入	10	1
投資有価証券の売却による収入	—	327
定期預金の増減額 (△は増加)	△29	28
保険積立金の解約による収入	16	—
その他	△32	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,096	△1,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	488	596
社債の償還による支出	△341	△331
短期借入れによる収入	9,139	5,138
短期借入金の返済による支出	△6,688	△2,511
長期借入れによる収入	1,320	383
長期借入金の返済による支出	△664	△722
リース債務の返済による支出	△93	△100
配当金の支払額	△233	△311
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,926	2,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	58	△346
現金及び現金同等物の期首残高	5,921	6,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,979	5,837

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,435	7,976	2,790	2,702	1,193	16,098	—	16,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	132	54	134	0	422	△422	—
計	1,536	8,109	2,844	2,837	1,193	16,521	△422	16,098
セグメント利益又は損失 (△)	385	△23	253	89	30	735	△439	296

(注) 1. セグメント利益の調整額△439百万円は、セグメント間取引消去△24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,430	4,518	2,550	2,233	1,206	11,940	—	11,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84	82	52	362	0	582	△582	—
計	1,515	4,600	2,603	2,596	1,206	12,522	△582	11,940
セグメント利益又は損失 (△)	394	△157	126	101	98	563	△412	151

(注) 1. セグメント利益の調整額△412百万円は、セグメント間取引消去△12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。